

2019年4月15日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」－2019年3月度調査－ ～「景況感」と「『平成の振り返り』と『新時代“令和”への期待・展望』」についてお聞きしました～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔）は、全国の中小企業経営者を対象とした毎月のアンケート調査「大同生命サーベイ」を実施しています。

2019年3月度調査では、毎月実施している「景況感」に加え、個別テーマとして「『平成の振り返り』と『新時代“令和”への期待・展望』」をお聞きしました。

<調査結果のポイント>

- 平成で事業や業種に最も影響があった出来事(自然災害除く)は、「消費税」に関する出来事が49%で第1位となりました。次いで、「リーマン・ショック」が48%で第2位、「日経平均株価大暴落(バブル崩壊)」が38%で第3位となりました。
- 今後の事業活動に最もプラスの影響がある国際イベントを都道府県別でみると、「東京2020オリンピック・パラリンピック」は開催地域に関わらず全国的にプラスの影響があるとの回答が多く、「2025年日本国際博覧会(通称、大阪・関西万博)」では開催地である関西を中心に多くなりました。

事業や業種に影響があった出来事

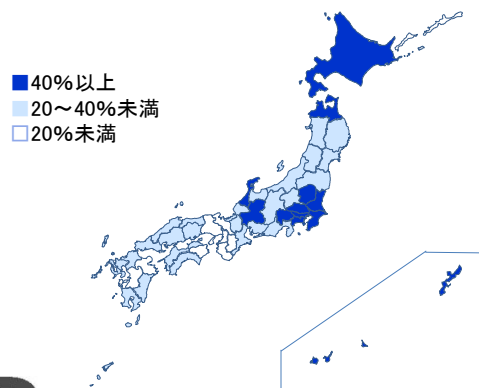
順位	出来事	割合
1	消費税率引上げ [平成9・26年] (消費税導入 [平成元年])	49% (41%)
2	リーマン・ショック [平成20年]	48%
3	日経平均株価大暴落(バブル崩壊) [平成3年]	38%
4	相次ぐ金融破たん [平成9年]	20%
5	個人情報保護法施行 [平成17年]	15%

順位	出来事	割合
6	アベノミクス開始 [平成25年]	14%
〃	日銀、マイナス金利導入 [平成28年]	14%
8	法人税引下げ [平成27年]	11%
9	Windows95日本上陸 [平成7年]	10%
〃	ITバブル [平成12年]	10%
〃	政権交代 [平成21年]	10%

今後の事業活動に最もプラスの影響がある国際イベント

東京2020オリンピック・パラリンピック

<東京2020 オリ・パラがプラスになると回答した企業(都道府県別)>



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)

<2025年大阪・関西万博がプラスになると回答した企業(都道府県別)>



<調査概要（3月度）>

調査期間	: 2019年3月1日（金）～ 3月29日（金）
調査対象	: 企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
調査エリア	: 全国
調査方法	: 当社営業職員が訪問により調査（回答企業数 : 4,492社）

<大同生命サーベイについて>

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取り組み」等に関する“生の声”をお聞きする調査として、2015年10月より、全国で実施しています（毎月の回答企業数：約4,000社）。

[参考：個別テーマ（直近1年分）]

2019年 3月	「平成の振り返り」と「新時代“令和”への期待・展望」
2019年 2月	中小企業の賃上げ意向、人材への投資・定年年齢の実態
2019年 1月	事業承継の実態、M&Aへの関心
2018年 12月	キャッシュレス決済、2018年の振り返りなど
2018年 11月	中小企業を守る災害への備え
2018年 10月	中小企業の人材確保と働き方改革
2018年 9月	成長投資への取組み
2018年 8月	I Tの活用実態
2018年 7月	※調査期間中に発生した平成30年7月豪雨の影響を踏まえ、予定していた個別テーマ「災害への備え」は、調査を中止しました。
2018年 6月	経営者の労働実態
2018年 5月	販路開拓
2018年 4月	健康経営への取組み

➤ 「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命Webサイトでご覧いただけます。
<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/> ※「大同生命サーベイ」で検索ください。